

美術
講座

書鑑賞のススメ

古筆から現代書まで

10/25 土 会場 はなとり展示室
時間 14:00~15:30

《佐竹本三十六歌仙絵巻》田中親美模本部分（筆の里工房・大内基康コレクション）

講師 名児耶 明 *Nagaya Akira*



書道史、書文化研究の第一人者として知られ、1972年から2019年まで公益財団法人五島美術館に勤務し、学芸部長、副館長を務めた。2021年に筆の里工房副館長、本年6月19日から館長に就任。大学講師などを務め、書文化をはじめ広く日本文化の紹介と後進の指導も行っている。

【主な展覧会】 平安古筆の名品、一休宗純、本阿弥光悦、藤原定家、源氏物語絵巻、牧谿、大澤竹胎、森田竹華 ほか多数

【主な著作物】

「書の見方」日本の美と心を読む(角川選書419) 角川学芸出版 2008

「日本書道史年表」(総説) 二玄社 1999

「書に心よせる」美術館へ行こうシリーズ 新潮社 1998

「日本書道辞典」項目担当・二玄社 1987 ほか

定員：50名程度

※聴講には入館券が必要です。

※事前申込（先着順）

申込先

① 華鵠大塚美術館

TEL 0866-67-2225

② 申込フォーム



はな とり 公益財団法人 タカヤ文化財団
華鵠大塚美術館

〒715-0024 岡山県井原市高屋町3-11-5

www.hanatori-museum.jp

日本の書道に注目
ユネスコの無形文化遺産に向けて